

虚血性突然死の実態と対策

野々木 宏 国立循環器病センター心臓血管内科

1. 冠疾患診療のフォーカスを院外へ

これまで冠疾患診療のフォーカスは、内科・外科ともに高度急性期診療あるいは予防対策にあり、発症直後の院外での対策は十分とはいえなかった。昨今の急速な診療の進歩により、急性心筋梗塞症をはじめとする冠疾患の入院後の治療成績は極めて良好となった。これは本特集の長尾論文で明示されている。しかしながら、急性心筋梗塞症の死亡の半数は院外死であることが米国から報告され、その救命対策が急務であることは心肺蘇生法をはじめとする循環器救急医療の国際ガイドラインが作成されていることに反映されている¹⁾。

一方、わが国全体における急性心筋梗塞症の発症数や致命率に関するデータは、ほとんど存在しない。厚生労働省の死亡診断書からの死因統計から虚血性心疾患の死亡数は約8万人と推測されている²⁾。致命率を30%と仮定するとわが国全体では約25万人の急性心筋梗塞症の発症が推測されている。しかし、正確な発症数はなお不明であり、そのデータを得るには全国的な疾患サーベイランスシステムの構築が是非とも必要であり、診療のフォーカスを院外に向けなければ、解決しない点が多々ある。

2. 急性心筋梗塞症の死亡の半数は院外死

現状では、わが国の急性心筋梗塞症の発症数や致命率は特定の地域での登録作業から類推することになる。本特集の著者らが中心となり地域あるいは全国調査が実施されたデータの一端を紹介する。

厚生労働省循環器病委託研究班(9指-2)により大阪府北部の北摂地域(7市、人口168万人)の全医療施設(95病院・1242診療所)に対して、平成9年の1年間に経験した内因性心肺停止例と急性心筋梗塞症発症数・致命率・搬送状況に関するアンケート調査が行われた^{3,4)}。院外心停止例は、病理解剖が実施できていないため、本特集の著者である東海林らの報告^{3,5)}に準じて内因性心肺停止の1/3を急性心筋梗塞症とした。急性心筋梗塞症は合計740例となり、人口10万人あたり約44人の発症、院内死亡率は12%で、院外死を含めた致命率は26%であった。さらに急性心筋梗塞症の全国サーベイランスに必要な事柄を検討した厚生労働省委託研究班(11公-6)において、診断基準と調査項目を標準化し、全職員23施設の地域全病院(人口約1318万人、954病院)に対して、平成12年10月の1カ月間における急性心筋梗塞症の治療の実状と致命率、院外心停止の調査を実施した⁶⁾。心筋梗塞症の院内死亡率は10%、院外死停止を含めると致命率は21%となった。北摂地域と同様な結果であり、わが国においても米国と同様に急性心筋梗塞症の死亡の半数は院外死であることが明らかとなった。

3. 虚血性突然死への対策

以上のように心停止となった場合の致命率はなお高く、その救命には、迅速な通報、迅速な心肺蘇生法の実施、迅速な電氣的除細動、迅速な専門的治療の4つの救命の鎖が時間の遅れなく機能する必要がある。内因性院外心停止の最大原因は、急性冠症候群の一つである虚血性突然死であり、急性心筋梗塞症の死亡の半数を占めている。そのため、院内への治療対策とともに院外への対策を確立しなければ、冠疾患症例の予後の改善は望めない。本特集では、院外心停止の疫学(石見論文)、院外心停止例の病理(東海林論文)、院外心停止や急性心

筋梗塞症へのドクターカーによる院外治療(澤野論文), 院外心停止蘇生後の低体温療法(長尾論文)を取り上げ, 実際の救急医療の現場での詳細な対策が紹介されている。本学会のフォーカスを院外にも向ける際に役立つことを祈っている。

文 献

- 1) Guidelines 2000 for cardiopulmonary resuscitation and emergency cardiovascular care. Part 7: The era of reperfusion, Section 1: Acute coronary syndromes (acute myocardial infarction), The American Heart Association in collaboration with the International Liaison Committee on Resuscitation (ILCOR). *Circulation* 2000; **102** (Suppl I): I-172-I-203
- 2) 厚生統計協会編: 厚生の指標 国民衛生の動向, 東京, 2005, 47-54
- 3) 厚生労働省循環器病委託研究「9指-2 心血管疾患の救急医療の現状と対策に関する研究: 主任研究者 野々木宏」班編: 心血管疾患に対する救急医療に関する診療の手引き, 2000, 1-104
- 4) 野々木宏, 向仲真蔵, 天野利男, 齊藤裕之, 望月俊男, 朝田真司, 上山裕也, 山本一博, 北摂心筋梗塞症研究会: 北摂地域における急性心筋梗塞症の発症状況とCCUネットワーク形成に関する研究. *冠疾患誌* 2000; **6**: 61-64
- 5) 東海林哲郎, 金子正光, 伊藤 靖, 坂野晶司, 今泉 均, 小林謙二, 浅井康文: 成人内因性搬入時心肺停止症例における急性心筋梗塞の頻度とその超急性期突然死例の病態—剖検時冠状動脈造影と病理組織学的検討—. *日救急医会誌* 1998; **9**: 143-157
- 6) 野々木宏: 虚血性心疾患の発生率と医療対策へのモニタリング方法の確立と国際比較に関する研究. 11公-6平成11年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告要旨, 2000, 288-295